

協会だより

(一社)秋田市建設業協会

目 次

1. 定例会議

- 三役会議

2. 行事報告

- 陳情書の提出

(仁井田浄水場等整備事業の地元建設企業への発注についての陳情書)

3. 部会・青年会等の活動

- 青年会 担い手育成事業「建設業を体感しよう！」

1. 定例会議

○三役会議

8月20日(金)

会長ほか2名の役員が出席し、三役会議を開催しました。

本会は、8月18日(水)に、仁井田浄水場等整備事業の実施方針および要求水準書(案)が公表されたことに伴い、その内容の把握とこれまでの要望事項との照合ならびに今後の対応について検討するために開いたものです。

審議の結果、実施方針にこれまでの要望内容が反映されていないことから、秋田市議会に、当該事業を地元を優先して発注する事を求めるための陳情書を提出することとしました。

2. 行事報告

○陳情書の提出

8月24日(火)

(仁井田浄水場等整備事業の地元建設企業への発注についての陳情書)

秋田市に対し、仁井田浄水場等整備事業について、地元を優先して発注することを求め、その実現により、地域内の経済循環を高めるとともに、地元建設業全体の振興と雇用を確保するため、秋田市議会に陳情しました。

陳情書については、以下のとおりです。

陳 情 書

令和3年8月24日

秋田市議会議長

岩谷政良様

仁井田浄水場等整備事業の地元建設企業への 発注についての陳情書

秋田市山王二丁目10番4号
一般社団法人 秋田市建設業協会
会 長 林 明 夫

秋田市山王臨海町3番18号
秋田管工事業協同組合
理事長 太田博之

秋田市山王三丁目1番7号
東カンビル
一般社団法人 秋田県電業協会
会 長 松澤國彦

陳情理由

秋田市に対し、仁井田浄水場等整備事業について、地元を優先して発注することを求め、その実現により、地域内の経済循環を高めるとともに、地元建設業全体の振興と雇用を確保するため

陳情事項

2019年4月に、働き方改革関連法が施行されたことにより、大手企業では、その資本力とネットワークを生かして労働環境の整備や生産性向上のための取組が着々と進められておりますが、地方においては、これから具体的に改善を図っていかねばならず、現在、地元建設業界は、担い手の確保と育成及び労働生産性の向上など、取組まなければならない課題が山積しております。

このような状況下、各建設関連団体においても、労働環境の改善を図りつつ、今後ともインフラ整備を通じて秋田市の発展に寄与していくには、公共工事の受注機会を確保し、経営基盤を強化していくことが大変重要であると考えており、そのためには、発注者と受注者がそれぞれの責務を果たしつつ、持続的に相互に連携を図っていくことが必須であります。

とりわけ、仁井田浄水場等の整備は、秋田市民に安全な飲料水を供給し、健康を守るための大規模な事業であり、本年4月に行われた秋田市長選では、10項目47プランの公約の一つとして、「地元を優先して発注し、建設業の振興と雇用を守ります」と掲げられております。

本年8月18日に公表された事業実施方針では、水処理プラントを設計・施工一括発注方式（DB方式）、それ以外の施設等を仕様発注方式に区分し、DB方式部分については、設計・土木・建築・機械設備・電気の各企業によるコンソーシアムを結成することとされております。

しかしながら、コンソーシアムの構成は、「秋田市内に本店又は本社を置く建設企業1社以上を含む」とされているだけで、公約に掲げるように、「地元を優先して発注」していただけるような具体的な仕組みが明示されておられません。これでは、地元建設企業が参入できる機会が損なわれ、DB方式以外の施設等が発注される場合においても同じようなことが起きるのではと危惧されます。

仁井田浄水場等整備事業は、地元建設業の振興と雇用の確保に大きな影響をもたらすことから、公約を実現して下さるよう下記のとおり陳情いたします。

記

1 地元建設企業優先の発注について

仁井田浄水場等整備事業は、「地元建設企業に優先して発注」し、建設業の振興と雇用を守っていただきますようお願い申し上げます。

2 事業スキームについて

実施方針において、応募者の構成は「秋田市内に本社又は本店を置く建設企業1社以上を含むコンソーシアムとする」とされておりますが、上記1を達成していただくためにも、コンソーシアム（異業種による複数の企業で構成されるグループ）は、「秋田市内に本社又は本店を置く建設企業4社以上（土木企業、建築企業、機械企業および電気企業の各企業に1社以上）を含む」として構成していただきますようお願い申し上げます。

2. 部会・青年会等の活動

○青年会 担い手育成事業「建設業を体感しよう！」 8月3日(火)

建設業の職場体験を通して、小学生に建設業に興味を持ってもらうことを目的として、建設現場見学会及び建設機械体験を実施しました。

当日は、17名（小学生11名、保護者6名）が参加し、日吉神社（新屋）の改築

工事の現場を見学した後、アクティオ秋田南営業所（御所野）に移り、除雪車や高所作業車への試乗やバックホウの操作、ショベルカーのアームを操作しての風船割りなどを体験しました。

体験イベント報告書

<p>事業目的</p>	<p>近年、建設業を取り巻く環境は技術者の高齢化・若年層の建設業離れなどにより次世代を担う技術者不足が深刻な問題になっております。キャリア教育の一環として、建設業の職場体験を通して、好奇心の旺盛な小学生に建設業に興味を持っていただくことを目的とします。</p>
<p>事業内容</p>	<p>建設現場の見学。日吉神社の工事現場の状況を写真を交えて説明する。現場の高大工より工事についての説明を行う。重機を実際に動かしての体験。バックホウの操縦、ホイールローダーの同乗体験、スーパーデッキの乗車体験、冷えルーム体験</p>
<p>実施日</p>	<p>8月3日</p>
<p>実施時間</p>	<p>9:00~12:00</p>
<p>参加者</p>	<p>17名 児童11名 / 保護者6名 （募集定員10名+保護者10名）</p>
<p>実施場所</p>	<p>見学会場：日吉神社 秋田市新屋日吉町10-67 体験会場：アクティオ秋田南営業所 秋田市御所野下場4丁目1-2</p>
<p>チラシ配布先</p>	<p>秋田市建設業協会近隣小学校高学年 866名 保戸野・明德・旭北・中通・旭南・川尻・八橋・泉</p> 
<p>配布物</p>	<p>イベントしおり、文房具、現場カード・重機カード、ペーパークラフト、重機マグネット、ティッシュ等</p> 

アンケート結果

①イベント内容について
良い 6名 普通・悪い 0名
②子供の反応について
興味を持っていた 6名 興味を持たなかった 0名
③現場見学・重機体験どちらに興味を持ったか
現場見学 3名 重機体験 6名 ※重機回答あり
④開催時間について
そのままでよい 6名 午後開催・土日開催 0名
⑤その他意見等
<p>外側から見ることはあっても、重機に実際に乗って動かす体験は初めてで貴重だと思いました。子供達も喜んでいました。実際に現場で働く大人を見て、子供達も感じるものがあったと思います。これをきっかけに建設業に興味をもってくれたら面白いと思いました。</p> <p>自分も建設業の事務経験があって興味のある業界です。子供たちはテレビやゲームなど身近な目に見えるものに興味がいきがちですが、今回のように現場を見たり重機を体験させてもらって知らなかった世界を幅広く知ることができて子供もいるんな面で勉強になったようです。神社の建て替え現場などあったに見ることができない現場に入らせてもらえてありがたいし、うれしいです。子供達にはもう少しわかりやすい写真や絵でこの後の完成図や、重機も実際に現場でやっている映像なんかも見せていただけるともっと興味がわくかもしれません。除雪車は冬になると実際に見ることが出来る車なのですが、それを思い出させる映像もあるといいかもです。</p> <p>暑い中でしたがとても楽しい体験ができました。風船が割れたときとても嬉しそうでした。また機会があれば参加したいそうです。暑い中ありがとうございました。</p> <p>建設現場見学場所が神社だったのでとても良い経験ができたと思いました。宮大工の仕事を見れる機会が出来たので感謝です。重機体験も暑い中ありがとうございました。カード等も自由研究にそのまま使用できそうでGoodです。</p> <p>子供たちの目が輝いていました。ありがとうございました。ただ暑すぎました。</p> <p>弟たちも体験させて頂けると思っていなかったので体験させてもらえて嬉しかったです。すごく楽しかったようです。建設現場の見学は子供達には少し高度だったようで理解できていませんでしたが、親としては神社の建設現場を見れて勉強になりました。重機体験では周りの方のサポート、盛り上げのおかげで親子共々楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。</p>

実施画像 集合一っ建設現場見学



実施画像 重機体験



告
体

岩城
から
上旬
なお、
解
定。

10月

町字

修

＝(一社)秋田市建設業協会・青年会＝ 夏休みに小学生が建設業を体感 保護者同伴で理解深める

一般社団法人秋田市建設業協会（林明大会長）と同青年会（伊藤久嗣会長）は3日、建設業に興味のある小学生を対象に、「建設業を体感しよう!」のテーマで現場見学や重機体験を実施した。協会が小学生対象のイベントを行うのは初めてのことで、当日は1年生から6年生までの11人と保護者6人が参加し、建設業に触れた。

この取り組みは、子どもたちや保護者に建設業への理解を深めてもらうため、夏休みの時期に合わせて、保護者同伴で実施したもの。

当日ははじめに、秋田市新屋の日吉神社で定められている改築工事の現場を見学した。その後は、秋田市築所寄にある株式会

社アクティオの秋田南宮業所に移動。除雪車や高所作業車への試乗、バックホウの操作体験、ショベルカーのアームを操作しての風船割りなどを行ったほか、アクティオで開発・レンタルをしている簡易組立テント「ゆえる〜む2」内で建設業に関する映像を視聴した。

参加した子どもたちは「普段体験できないことが体験できてよかった」「ショベルカーを操作しての風船割りが楽しかった」と話していたほか、保護者からも「貴重な体験をさせられて良かった」といった声が聞かれた。



【秋田市】ショベルカー操作で風船割りに挑戦

る予定。

スクールバス車庫については当初、市役所種川総合支所（川邊字上平城120）に建設する予定だったが、同箇所で遺跡の痕跡が

新庁舎は現庁舎北隣（若瀬字沢原台）の約3,200㎡に鉄骨造平屋建て、床面積2,000㎡規模での建設を想定。実施設計は岡・空間設計・創建築設計・シグマ企画加納設計-

